

2022年度 大妻中野中学校 第1回アドバンスト入試
 第1回グローバル入試
 (2月1日午前 問題用紙)

算 数

受験上の注意

- (1) この問題用紙は表紙を含めて5ページあります。
- (2) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (3) 問題用紙・解答用紙それぞれに受験番号と座席番号と氏名を忘れずに記入してください。
 受験番号と座席番号は算用数字で記入してください。
- (4) 試験時間は50分です。
- (5) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (6) 問題用紙の余白は計算に使ってかまいません。
- (7) 解答用紙の余白には何も書かないでください。
- (8) この試験は100点満点です。

受 験 番 号					番	氏 名	
座 席 番 号	/				番		

1. 次の \square にあてはまる数を求めなさい。約分ができる分数は、約分して答えなさい。

$$(1) 18 + 8 \times 2 - 15 \div 3 + 21 = \square$$

$$(2) 3.37 \times 4 + 33.7 \times 2 - 0.337 \times 234 = \square$$

$$(3) \left(\frac{5}{6} - \frac{3}{8}\right) \times \left(2\frac{1}{5} - 1\frac{6}{7}\right) = \square$$

$$(4) (\square - 7 \times 6) \div (13 \times 4 - 16 \times 2) + 1 = 100$$

$$(5) \frac{1 \times 2 \times 3 \times 4 \times 5 \times 6}{3 \times 4 \times 5 \times 6 \times 7 \times 8} = \square$$

$$(6) \frac{1}{5} \text{日} : 72 \text{分} = \square : 1$$

2. 次の にあてはまる数を求めなさい。約分ができる分数は、約分して答えなさい。

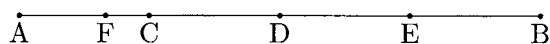
(1) 160 円のノートと、120 円の消しゴムを合わせて 12 個買ったところ、合計金額は 1600 円となりました。買った消しゴムは 個です。なお、金額はすべて税込みとします。

(2) 分速 96m で出発した兄を、弟が同じ場所から 4 分後に自転車で追いかけたら、その 8 分後に追いつきました。このとき、弟の自転車の速さは分速 m です。

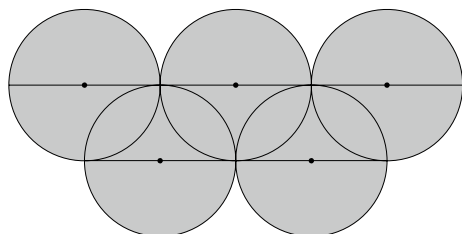
(3) 縮尺が 25000 分の 1 の地図上で、3cm ある道路の実際の長さは m です。

(4) ある仕事を A さんだけで行くと 40 分、B さんだけで行くと 60 分、C さんだけで行くと 120 分それぞれかかります。このとき、この仕事を A、B、C の 3 人で一緒に行くと 分で仕事が終わります。

(5) 図のように長さ 24cm の AB を 4 等分した点を C、D、E とし、さらに AD を 3 等分したときの A に近い点を F とする。このとき FE の長さは cm です。



(6) 半径 1cm の 5 つの円が下の図のように重なっています。このとき、色を塗られた部分の面積は cm^2 です。ただし、円周率は 3.14 とします。



3. Aの容器には濃度が4%の食塩水が入っている。Bの容器には濃度がわからない食塩水が入っている。Aの食塩水300gとBの食塩水150g混ぜたところ、6%の食塩水ができることはわかっている。この2種類の食塩水を使い、濃度の違う食塩水を作ることにしたとき、次に問いに答えなさい。

(1) Bの食塩水の濃度は何%ですか。

(2) Aの食塩水とBの食塩水を混ぜたところ、8%の食塩水が270gできました。Aの食塩水は何g入れましたか。

(3) Aの食塩水300gを用意しましたが、何gかをこぼしてしまいました。300gになるように水を加えたところ、3%の食塩水が300gできました。このとき、こぼしてしまったAの食塩水の量は何gですか。

(4) Aの食塩水300gを用意しましたが、何gかをこぼしてしまいました。300gになるように、Bの食塩水を加えたところ、4.5%の食塩水が300gできました。このとき、こぼしてしまったAの食塩水の量は何gですか。

4. 日本のお札には「記番号」という数字とアルファベットの組み合わせによる8けたの番号が記載されています。例えば、「A000001A」や「B100204D」などです。両端はアルファベットで、中の6けたの数字は「000001」から始まり、「000002」「000003」「000004」…と順番に数字が大きくなっていくとします。中の6けたの数字について考えるとき、次の問いに答えなさい。
- (1) 「111111」のように6けたすべて同じ数字が並んでいるものを「ゾロ目」と呼びます。「000001」から「900000」までのうち、「ゾロ目」は何枚ありますか。
 - (2) 「234567」のように数字が1つずつ増えていくものを「カイダン」と呼びます。「000001」から「900000」までのうち、「カイダン」は何枚ありますか。
 - (3) 「100001」や「633336」のように、先頭の数字と最後の数字が同じで、かつ、間の4つの数字がすべて同じものを「サンドイッチ」と呼びます。ただし、(1)の「ゾロ目」は「サンドイッチ」には含みません。「000001」から「900000」までのうち、「サンドイッチ」は何枚ありますか。
 - (4) 「10000」や「50000」のように下5けたに0が並ぶものを「キリ番」と呼びます。(1)~(3)の「ゾロ目」「カイダン」「サンドイッチ」と「キリ番」のどれにも当てはまらないものは、「000001」から「900000」までのうち何枚ありますか。

問題はこれで終わりです。

